

令和6年2月26日(月)

今から始めても、遅すぎることはありません

皆さんは、これまでやって来なかったから、これからもできないなどと諦めてはいませんか？私は、現在柔道4段ですが、私が柔道を始めたのは中学校卒業後、高校生になってからで、初段を取得したのは高校2年生の時です。

私が中学校に入学したときには、私の中学校には武道館だけでなく、体育館すらなく、バレーボール部やバスケットボール部は校庭で部活動をしていました。当然柔道部はありませんでした。

高校では、柔道経験者がなく素人で入部した他の生徒はいましたが、ほとんど途中で辞めていきました。しかし、私は結局高校3年間だけでなく、大学でも柔道部に入部し、その後社会人としても地域の大会に出場するなど、10年以上続けました。決して柔道の大会で上位入賞することはできませんでしたが、高校から始めても、遅過ぎると感じたことはありませんでした。私の他にも、大学に入学してから柔道を始めた先輩や後輩も複数います。

また、私は50歳を超えてから42.195 kmのフルマラソンに出場し始めました。タイムは恥ずかしいくらい遅いのですが、これまで8回完走しています。現在10代の中学生である皆さんは、始めるのに遅過ぎることなどありません。何にでも挑戦してください。

私は、今年度60歳になったため、校長職を退きます。しかし、リタイアするわけではありません。これからもどこかで、新しいチャレンジをすることになるだろうと思います。これまでに経験したことが全くない新しいことをやるように言われるかも知れません。しかし、新しいことを始められる喜びを噛み締め、引き受けようと思っています。

今年3月末で、喜入中学校の生徒の皆さんとはお別れすることになりますが、どこかでお会いできることもあろうと思います。その際には、今の実力を伸ばし、大きく成長し、場合によっては新たなことを始め挑戦する皆さんと再会できることを楽しみにしています。